

日刊 磐城時報

編輯兼發行人 岡田弘成 印刷 磐城印刷局 電話 二四一四

山崎、關内の兩代表 三度橋本校長に會見

幹部評議員協議の結果 責任ある回答を聴取

磐中校同窓會が突きつけた學校時五十分一先づ引上げ午後四時改革案の回答は七日午後一時からマルトモホールに於て右幹

十日から一週間 歳末の同情週間

米、衣類等を恵んで 貧しい人々を慰める

匡救土木事業は各町村共着手さず、さうした力のある掛聲の

殺入未遂罪で送局

密會ではなかつた スコップで殴つた男

昨報内郷村大字御厩字下宿日雇が、平町の商工世帯の實際状態

小林良猪君の遺骨

けいふ平驛通過

十餘組百十餘万圓といふ巨額に達してゐるが、縣の査定により

去月二十六日滿洲大家屯で戦死状況左の如し

女同志の喧嘩

互に殴り合ふ

五川村大字大原野崎ミツ(二四)よによ二十二日午前十時から同

神谷試験場で調査した 本年の稲作状況

平年作より減收の上 乾燥不良で重量も軽い

神谷農事試験場の大雪期に於け氣温低く降雨多過ぎたため早

本年の稲作状況 平年作より減收の上 乾燥不良で重量も軽い

支所開廳式 開廳までに慶問題を惹起した縣

支所開廳式 開廳までに慶問題を惹起した縣 營業取締所平支所の開廳式は

平稅務署の 國稅滯納額 八千圓、公賣殘額酒造稅八千圓

内郷村の

欠食見救済

石城郡内郷村の欠食児童は百數十名に及んで村は學務委員、校醫、保護會等と協力寄附募集等を行つて救済に努めてゐるが、これ等の家庭はいづれもが一家の支柱たる男性の失職或は疾病によるもので家族數も最低五人から最高八人の多勢で僅に少年少女が石炭を拾ひ行商して生活を支へてゐるといふ悲惨なる状態で欠食児童給食と同時にこの貧困家庭の救済も叫ばれ毎十錢乃至十五錢位の割合で米、みそ、日用品の配給を行ふこととなり少しくも明るい正月を迎へさせようとしてゐるが、中にはこの配給を自當に勞働もしないといふ者も出てくるので嚴密な調査を遂げて怠り者には絶対に配給しない方針である。

植田隔離病舎

石城郡植田町の傳染病隔離病舎は從來四十餘名の收容にすぎず常に狹隘を告げてゐたが、この程工費六千五百圓を以て大隔離舎を新築すべく目下堂ノ作に基礎工事中であるが近く着工年末までに完成の筈である。

平白米値上げ

地方の米相場は漸次高騰の氣配で五日は四等米八圓九十錢といふ近來にならぬ高値を示し一日の相場に比し僅五日間に四十錢の急激の騰貴で同町米穀商組合では五日から左の如く一キロに五厘の値上げした。

▲上白一キロ十八錢 ▲中白十五錢 ▲普白十七錢 ▲田糶二十一錢 ▲陸糶二十錢 ▲搗麥十錢

タクシー界の寵兒
皆様の昭和!!

いつも新車にて御目見得
致します

倍舊の御最負と御聲援願ひます

平 驛 前

昭和タクシー

電話三四三番

三五七祝着陳列

子供服
オーパー
ショール
流行ショール
綿・モメリヤス
その他

ツヤルヤル
平 四 電 一 四 〇

12月6日ヨリ
12月10日マデ

10日検査機

体温計の検査日です
お宅の体温計は?

◎正確な体温計を御使用下さい
◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡
計量器
指定販賣人 西村屋藥局
電 三 番

吸入用酸素 純度99%

モノサシ
マ ス
ハカリ
体温器
寒暖計

秤ノ取緒・鍍糸・修覆致シマス

關内藥局

電話四〇番

強壯殺菌劑
精力増進劑

ニンニグ丸 二十四分 二四〇〇

東北六縣
總發賣元 山野邊藥局

貨切ノ御用命

ゼヒ 三井自動車部へ
電話六八五番

乗合は 好間・合戸・澤渡方面行

外科 花柳病科 専門

平町六丁目橋際
木村外科醫院
電話三〇九番

生命保險の相談所

○保險料立替 ○證券擔保貸付 ○失効解約請求手續同時受取金立替 ○復活手續き保險料立替、保險料の拂込の期間は六十日後二ヶ年経過するに解約返戻金一厘も取れなく時効となりますから早く手續きが必要です。

當所は會社と契約者との中間に立ち最も迅速に、最も確實に、最も善良なる相談相手として皆様の御用命を期待して居ります。

石城郡鹿島村(江尻中方)

秋山保險相談所支店

三五七子供服大賣出

お嬢様、お坊ちゃんまの可愛らしい御祝用子供服を種々取揃へ店頭陳列して御座います。

◆女児服 一・一〇ヨリ
色メロ 二・三〇ヨリ
ビロッド 二・三〇ヨリ

◆男児服 一・九〇ヨリ
スコッチ 三・四〇ヨリ
茶メル 三・四〇ヨリ

◆男女柄オーバ 二・〇〇ヨリ
◆メルトニオール 二・六〇ヨリ

店服洋やかふ
番302話電 目丁三平

素人の私が 痔の妙藥發見

同病者に秘法を傳ふ

私は永年頑固な痔にて苦しんだ者です。誇大な廣告に迷ふたり、民間藥を信じては試みましたが是れとして効果の顯れた物は無かつたのです。フトした機會に或る食物から簡単な操作で妙藥が出来ました。然かし醫師、藥劑士でもない素人の私は遺憾ながら如何なる靈効妙藥を發見しても製藥販賣が出来ません。そこで私は金壹圓を謝禮として頂き費用の續く限り天下の同病者へ体験による手當法と製法をお傳ひする事に致しました。

材料は食物で何處にもある安價なものです。

埼玉縣大宮町吉舖三二一 下宿 至誠館主